

## 交通部会

## 杵淵剛大議長

次に日程第2, 「一般質問」を議題といたします。

議長に「発言通告書」が提出されておりますので, 順次発言を許します。

最初に, 交通部会 15番 宇都宮中央女子高等学校 阿部真弓さん, 2番 泉が丘中学校 佐野隆太さん。

## 15番 阿部真弓議員

議長, 15番

## 2番 佐野隆太議員

議長, 2番

〔15番 阿部真弓議員 2番 佐野隆太議員 登壇〕

## 15番 阿部真弓議員

15番 宇都宮中央女子高等学校 阿部真弓です。

LRT建設について3つ質問いたします。

1つ目は, LRT導入の際の意義についてです。

まず, LRTを建設する際, 建設費が1km20~30億円, 総額360億円かかるとのことですが, その初期投資に要する借入金はどれくらいの期間を目安に返済する予定なのか, また, その時, 市民の税金への負担が増えてしまうことはないのかということが住民の大きな不安になっています。

また, 建設中に鬼怒川付近や外環状線では, 朝夕のラッシュ時の混雑に加えて片側1車線になってしまったら, LRT運営の前に交通渋滞・交通事故が多発して非常に危険です。建設期間中の交通渋滞や交通事故への対策はどのように考えているのか疑問です。

現在, 宇都宮市では道路や橋, 公共施設などの多くの維持管理経費がかかっていますが, LRT建設後, 運賃収入のみで人件費や施設の維持管理費などの「運営経費」を賄うことは可能なのかということなど, 疑問が残ります。

LRT建設は環境やまちづくり, 福祉の視点からも必要だと思えます。だからこそ, 住民一人ひとりが納得できるLRT建設の意義を教えてください。

2つ目に, 安全対策について質問します。

LRTを導入すると, 道路は人や自転車, 車, LRTの3つに分かれることになりましたが, 予想

図を見てみると明確な境界もないようです。LRTには問題がなくても、人や自転車が飛び出すといった事故が起きそうな気がしますが、安全性は大丈夫なのでしょうか。

また、バスなどの車内に立っていて危ない思いをしたり、事故が起きて怪我をしてしまったなど、これまで車内において数多くの問題が起きていますが、LRTは従来の交通機関と比べて、車内安全は確保できているのでしょうか。すでに導入しているところでは大きな事故はないようですが、やはりバスと比べると、レールの上を走っているのだから、路上の落下物に対して非常に危険だと思います。宇都宮市でも同じように出来るのでしょうか。

他にもたくさん安全に対する問題があると思いますが、現時点ではどれだけ把握できていて、どのような対策を考えているのでしょうか。具体的に教えてください。

3つ目に、利用者について質問します。

神奈川県相模原市のモノレール事業で、まったく情報公開をせず、市民もその存在に気付かなかったということがあり、そのことの説明として「市民フォーラム」というものが開かれました。そこで初めて知った市民がとて多かったということがあったのですが、宇都宮市では利用者への意識対策はどのように考えているのでしょうか。

次に、バスなどで利用されている学割や幼児半額などのサービスや、バスカードならぬ「LRTカード」は導入するのでしょうか。

また、オランダのアムステルダム路面電車には、ステップのない乗降口や、ステップがあっても手すりを多めに付けているなど、バリアフリー設備が整っており、利用しやすい環境になっているのですが、宇都宮市ではどのようにする予定なのか具体的に教えてください。

以上で質問を終わります。よろしく申し上げます。

## 2番 佐野隆太議員

2番 泉が丘中学校 佐野隆太です。

交通マナーと道路整備について質問します。

まず、放置自転車対策についてお伺いします。

私は、塾の帰りに東武一番通りを通ります。そこは、本来ならば自転車放置禁止区域であるはずなのに、たくさんの自転車が停められています。商店街やデパートが近くにあるために、歩行者がとて多く、通行の妨げになっています。

そこでお伺いします。宇都宮市の放置自転車の現状はどうなっているのでしょうか。また、以前と比べ、状況は変化してきているのでしょうか。

私たちから見ると、あまり変化が見受けられないように感じます。やはり、その原因は、駐輪禁止の表示がはっきりなされていないこと、「自転車放置禁止区域」及び「自転車放置規制区域」というものが市民にあまり知られていないということだと思われます。私たちは、学校や公共施設、コンビニエンスストアでのパンフレット配布、街に放置禁止区域や駐輪場の案内板を設置するなどが効果的だと考えているのですが、市では今後、市民に知ってもらうために、どんなことをしていく方針ですか。

次に、道の整備についてお伺いします。

私は毎日、自転車で学校に通っています。ある日の放課後、歩道を自転車に乗って走っていたら、目の前に下校途中の小学生の集団が現れました。細い道だったので、先に進めず困ってしまいました。小学生に声をかけ、避けてもらってどうにか通ることができたものの、ぶつかりそうになりヒヤヒヤしました。その道は、車の通りが激しく、自転車には危なくて車道を走行することができません。交通安全教室などでは、「自転車は車道を走行する。」と指導を受けたことがありますが、このような時はとても困ります。私たちはどうすれば良いのでしょうか。ここで伺います。歩行者も自転車も安心して通れる道にするために、今後どのような対策をとっていくのですか。また、市はどうお考えになっているのでしょうか。

最後に、オリオン通りについて伺います。日中、オリオン通りにおいて、通りの真ん中を堂々と走る自転車をよく見かけます。実際に、私の横をものすごいスピードですり抜けていったおばあさんもいました。本当に、私の横をギリギリで通っていったので、「あの時、少しでも私がふらついていたらどんなことになっていたのか。」と考えただけでも怖くなります。このようなことは、これまでも何度か問題になったことではありますが、一向に解決される様子がないように感じます。これまで、市ではどのような対策をとってこられたのですか。そして、それによってどう変化してきましたか。今後、どのようなことを行っていく方針ですか。具体的に教えてください。

以上で質問を終わりにします。よろしくお願いいたします。

## 須藤啓二総合政策部次長

議長、総合政策部次長

## 杵淵剛大議長

総合政策部次長

〔須藤啓二総合政策部次長 登壇〕

## 須藤啓二総合政策部次長

阿部議員のご質問にお答えいたします。

「LRTの建設について」のうち、まず、「LRT導入の意義」についてですが、LRTは、渋滞や交通事故の増加、まちの中がさびれるなど、車中心の社会がもたらした様々な課題に対応するだけでなく、LRTを含めた公共交通のネットワークをつくることで、車から公共交通への乗換えを進め、高齢社会や環境問題にも対応が可能なため、本市のまちづくりにとりましても、重要なものとして導入を検討しているものです。

しかしながら、LRTの導入には、採算性や建設時の交通問題など多くの課題があり、導入に関しても様々なご意見があります。

阿部議員がお持ちの疑問や不安につきましては、多くの市民が同じように持っているものと思われれますので、これらの課題につきましては、現在、専門家や交通事業者、利用者の代表などと検討を行っているところです。

今後は、市民の皆さんの疑問や不安に明確にお答えできるようにしていきたいと考えています。

次に「安全対策」についてですが、LRTは、車の乗り入れを禁止した専用の線路を走る、とても安全性が高い乗り物であり、導入が進んでいるヨーロッパなどでは、線路と道路の間に段差や柵を設置したり、まちの中では、歩行者と同じくらいのスピードで走るなど、歩行者や自転車の安全も十分確保されています。

また、車内の安全性につきましても、電車と同じようにゆれが少なく、スムーズに走れ、安全で快適性に優れています。

宇都宮市でも今後、ヨーロッパなどの先進的な事例を参考にして、安全対策について検討を行っていききたいと考えています。

次に「利用者」についてですが、LRTの導入にあたりましては、多くの市民に関心を持っていただき、「LRTの必要性」を理解していただく事が大変重要です。

そのため、これまでも説明会の開催や広報紙を発行するなど、情報の提供を行ってきましたが、今後は、これまで以上に積極的に市民理解の促進に努めたいと考えています。

LRTを、多くの市民に利用していただくためには、阿部議員から提案された「LRTカード」や「割引」につきましても、利用を高めるためのサービス提供の一つとして検討をしていきたいと考えています。

また、LRTの車両は、床が低くて、車いすやベビーカーを含め、誰にでも乗り降りが簡単にできるなど、バリアフリーにも十分対応できるものです。

阿部議員のご質問やご指摘は、LRT導入を進めていく上で大変重要なことであり、今後、大いに参考にさせていただきたいと思えます。

### **笠井純建設部次長**

議長、建設部次長

### **杵淵剛大議長**

建設部次長

〔笠井純建設部次長 登壇〕

### **笠井純建設部次長**

佐野議員のご質問にお答えいたします。

「交通マナーや道路整備について」のうち、まず、「放置自転車について」ですが、市内の放置自転車は、東武一番通りを含む中心市街地や、JR宇都宮駅をはじめとする駅周辺に集中しています。

この地域での放置台数の推移は、平成4年度が1番多く3,681台でしたが、放置禁止区域の指定や放置自転車巡回指導などの対策を行った結果、平成16年度は933台と大幅に減少しましたが、残念ながら、まだまだ多い状況にあります。

次に、禁止区域などの周知についてですが、本市では、放置禁止の看板や駐輪場の案内板の設置などを行っています。また、市内の高校生が中心となり活動している「交通問題を考える会」などを通して、マナーアップの意識向上を図っているところです。

今後は、議員ご提案のパンフレットの配布について、これまでの高等学校に加え、中学校への配付や、中心部のコンビニエンスストアに置いていただけるようお願いするなど禁止区域の周知徹底をさらに図って参ります。

次に、「道路整備について」ですが、現在、皆さんが利用している歩道は、歩行者のためのものと、歩行者と自転車が通れるものと2種類があり、道路標識や路面表示により区分されています。議員ご質問のような、通学途中の危険性を少なくするため、中心部においては、歩行者と自転車を分離する自転車道の整備を始めたところです。

また、学校周辺の通学路について調査を行い、必要な箇所については改善するなど、安全で安心できる道路環境づくりを進めます。

### **菊池芳夫市民生活部次長**

議長，市民生活部次長

### **杵淵剛大議長**

市民生活部次長

〔菊池芳夫市民生活部次長 登壇〕

### **菊池芳夫市民生活部次長**

佐野議員のご質問にお答えします。

「交通マナーや道路整備について」のうち、「オリオン通りにおける自転車の通行について」ですが、改めて、歩行者への思いやりの気持ちをもって、自転車に乗ることの大切さを実感させられました。

市では現在、市内全15校の高校や警察、商店街の皆さんと協力して、毎週月曜日に、ユニオン通りからオリオン通りにかけて、通行する自転車利用者に対して、直接、「スピードを落としてください」、「歩行者に注意してください」と声をかけ、安全通行の指導を行っています。

この結果、「スピードを緩めるようになった」、「歩行者に気をつけるようになった」など、市民の皆さんから、良くなったという評価をいただいておりますが、まだまだスピードの出しすぎや歩行者への気配りが徹底されていない状況にあります。

これからも、警察、商店街をはじめ、市民の皆さんと協力して、歩行者が安心して、楽しんで歩くことができるオリオン通りにしていきたいと考えています。

### **杵淵剛大議長**

以上で、交通部会の質問を終わります。